

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。



仮設の高座で熱演する柳朝師匠

春 彼岸の中日となった3月21日、春彼岸法要が営まれました。当日はお昼前から多くの参詣者が訪れ、萬福寺護持会によるお汁粉のお振る舞いもあつて、境内はいつになく賑わいをみせていました。

法要に先立って、午後1時から本堂では六代目春風亭柳朝師匠による落語会が開催されました。会場の本堂には仮設の高座が設けられ、二百人を超える大勢の参詣者が集まり、本堂は明るい笑い声に包まれました。

柳朝師匠は地元・大森山王にお住まいで、文化の森などでも落語会を開くなど、地元での活動も精力的に行っています。

春彼岸法要

平成27年3月21日(土・祝)

今年は春風亭柳朝師匠の落語を楽しみました



200名を超える参詣者が詰めかけた本堂内

護持会関係者と親交があり、今回の落語会をお願いしました。もともと落語とお寺は縁が深いそうで、落語界では「てぬぐい」を「まんだら」と呼び、落語家が扇子を持つのも僧侶の使う「中啓(扇)」が源流とのことでした。

この日の演題は、知ったかぶりの和尚さんと、いたずら好きの小坊主さんの掛け合いが楽しい「転失気」と、釣り禁止の不忍池で釣りをして役人に捕まり、親孝行を理由に許しを請う「唾の釣り」の二題でした。テンポのよい軽妙な語り口で、萬福寺寄席は大いに盛り上がりました。

その後、午後2時より安本利正ご住職様はじめ10名の僧侶による法要が厳かに営まれ、ご法要いただいた卒塔婆を手に参詣の皆様は三々五々、お墓参りに向かいました。

TOPICS

萬福寺「古文化講習会」参加者を募集

ご住職所有の実物を手にして聴講する異色の講習会

萬福寺では安本利正ご住職様を講師に「古文化講習会」を開催します。ご住職様所有の実物を、受講者が実際に手にしながら聴講するという異色の講習会です。テーマは古写経、古漆器の美、香木と線香、地獄図と閻魔図、平家納経の複製など、10項目に及び、2カ月に1回程度の開催を予定しています。

テーマ、申込要項、参加費など詳しくは同封の別紙をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。



平家納経(写真上)と各種古写経



午後2時より始まったご法要



- (上) 参詣者にお汁粉が振る舞われた
(下) お墓の花器にお花を生ける平林恵美子さん